

● 停電発生時の操作方法

ご契約のガス会社を選択します。

※ガスと水道の供給が停止している場合はエコウィルの発電はできません。

東京ガス

京葉ガス

東邦ガス

大阪ガス

西部ガス

● 停電発生時の操作方法

東京ガス

発電継続機能の「有無」を確認します。

※ 停電時自立運転機能「なし」の機種は停電時のご利用はできません。

停電時
自立運転機能
「あり」

GEH-1011ARS-KB

停電時
自立運転機能
「なし」

上記品番の機種以外は停電時のご利用はできません。

TOPへ戻る

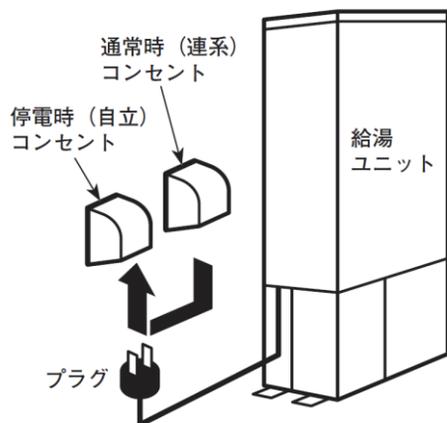
※停電発生時にガスと水道が正常に供給されていることをご確認ください。

ガスメーターのランプが点滅していないこと、及び水が出ることをご確認ください。

STEP 1 給湯ユニットのプラグを停電時(自立)コンセントへ差し替える。

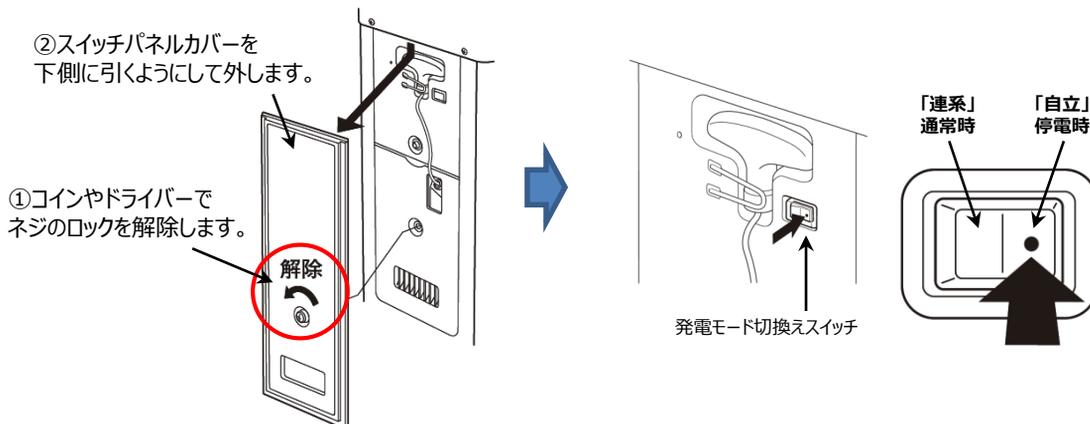
給湯ユニットの電源プラグを停電時（自立）コンセントに差換えます。

※コンセント差込部およびプラグに水滴を付けないようにしてください。感電のおそれがあるので、濡れた手で作業しないようにしてください。



STEP 2 「発電モード切換え」スイッチを「自立」に切替える。

発電ユニットのスイッチパネルカバーを取外し、発電モード切換えスイッチを「自立」(停電時)側に切替えます。



STEP 3 エンジンの始動準備をする。

始動グリップを取出して両手で持ち、1～2回止まるまでゆっくりロープを引き出し、周囲に障害物がないこと、足場がしっかりしていることを確認します。
 ※確認後は、始動グリップに手を添えてゆっくり戻してください。

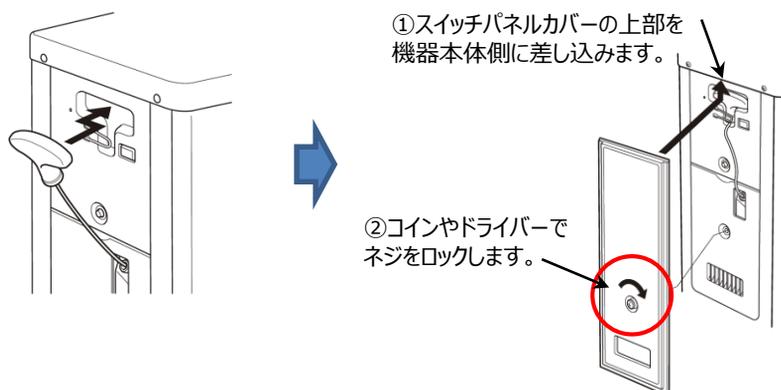


STEP 4 エンジンを始動する。

運転ランプが「消灯」している状態で、両手で始動グリップを持ち、ロープが伸びきるまで勢い良く引きます。
 ※一度でかからない場合は繰り返します。
 エンジンがかかると運転ランプが「点滅」に変わり、発電ユニットが振動します。

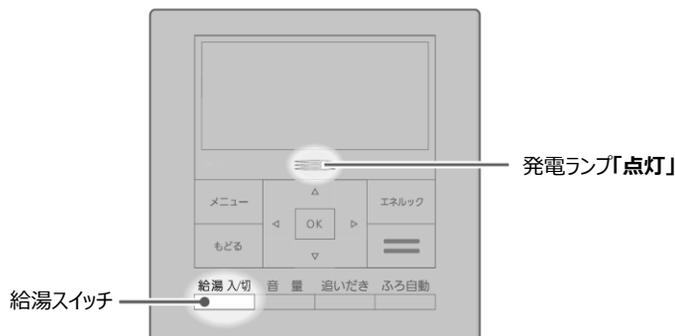


エンジンがかかったら始動グリップを収納位置に戻し、スイッチパネルカバーをはめ直しておきましょう。

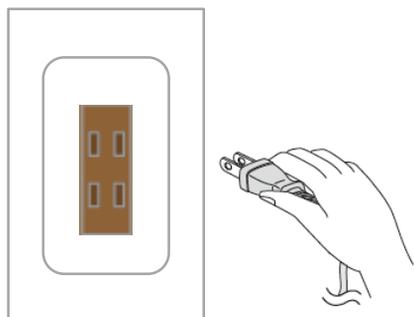


STEP 5 リモコンの発電ランプ「点灯」を確認し、給湯スイッチを「入」にする。

室内リモコンの発電ランプが「点灯」していることを確認した上で、給湯スイッチを「入」にします。
※約1分後に非常用コンセントに通電します。

**STEP 6** 停電時に使用したい電気製品を非常用コンセントへ差し替える。

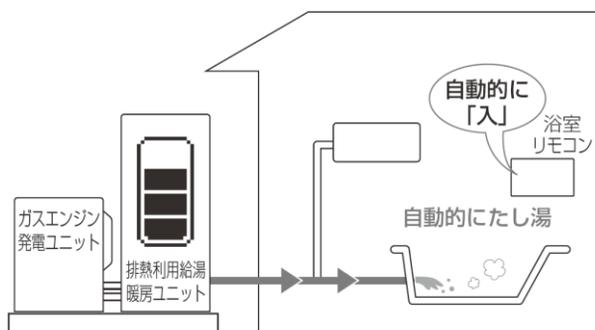
非常用コンセントは茶色のコンセントが目印です。差し替えてご使用ください。
※最大980Wの電力を使用できます。

**!** 注意

運転時間が23時間55分を超えると発電を停止します。
引き続き停電時運転を行う場合は、STEP 4～5の手順で再度エンジンを始動してください。

停電時運転中は、給湯・シャワー・お風呂・浴室暖房・床暖房などでお湯を活用する。

お湯を使わないと、タンクがいっぱいになり発電が止まってしまうため、排熱利用給湯暖房ユニットが自動的にお湯を供給します。※浴槽の栓をしていると、たし湯により浴槽からお湯があふれることがありますので注意してください。



浴槽の排水栓を開けておくことをおすすめします。

● 停電発生時の操作方法

京葉ガス

発電継続機能の「有無」を確認します。

※ 停電時自立運転機能「なし」の機種は停電時のご利用はできません。

停電時
自立運転機能
「あり」

GEH-1011ARS-KB
GEH-1015ARS-KB

停電時
自立運転機能
「なし」

上記品番の機種以外は停電時のご利用はできません。

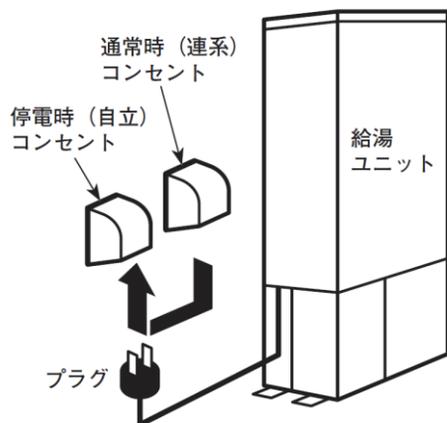
※停電発生時にガスと水道が正常に供給されていることをご確認ください。

ガスメーターのランプが点滅していないこと、及び水が出ることをご確認ください。

STEP 1 給湯ユニットのプラグを停電時(自立)コンセントへ差し替える。

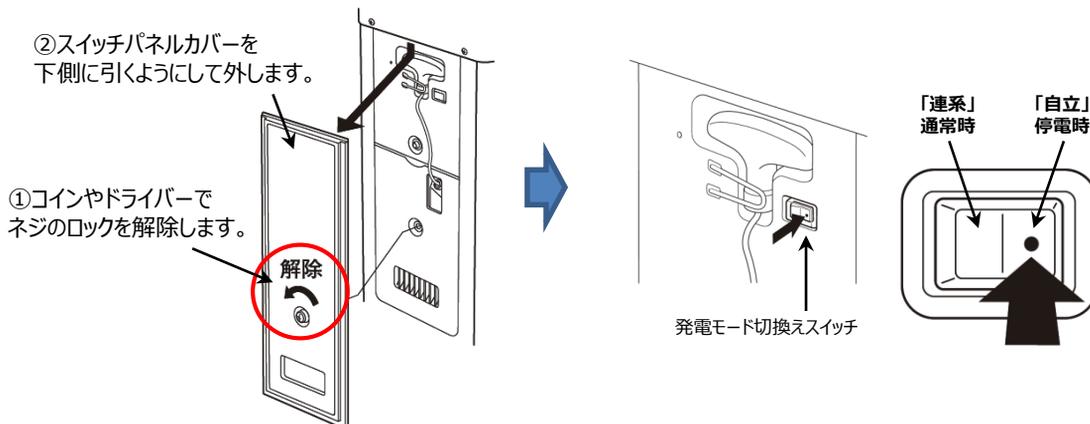
給湯ユニットの電源プラグを停電時（自立）コンセントに差換えます。

※コンセント差込部およびプラグに水滴を付けないようにしてください。感電のおそれがあるので、濡れた手で作業しないようにしてください。



STEP 2 「発電モード切換え」スイッチを「自立」に切替える。

発電ユニットのスイッチパネルカバーを外し、発電モード切換えスイッチを「自立」(停電時)側に切替えます。



STEP 3 エンジンの始動準備をする。

始動グリップを取出して両手で持ち、1～2回止まるまでゆっくりロープを引き出し、周囲に障害物がないこと、足場がしっかりしていることを確認します。
 ※確認後は、始動グリップに手を添えてゆっくり戻してください。

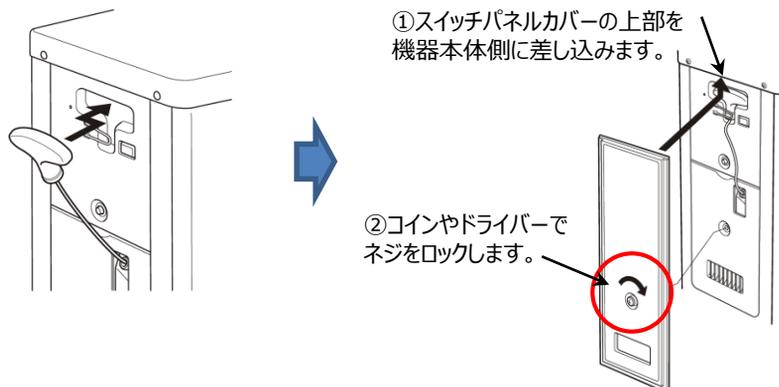


STEP 4 エンジンを始動する。

運転ランプが「消灯」している状態で、両手で始動グリップを持ち、ロープが伸びきるまで勢い良く引きます。
 ※一度でかからない場合は繰り返します。
 エンジンがかかると運転ランプが「点滅」に変わり、発電ユニットが振動します。

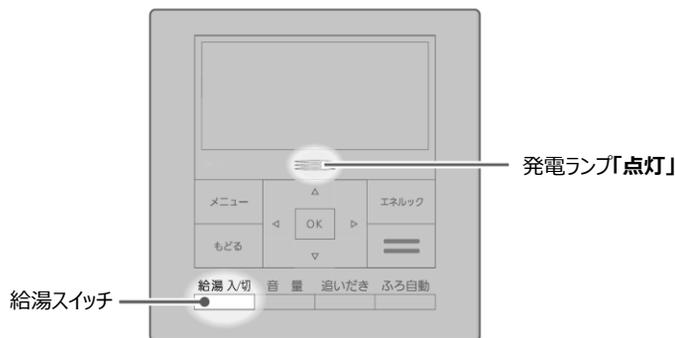


エンジンがかかったら始動グリップを収納位置に戻し、スイッチパネルカバーをはめ直しておきましょう。

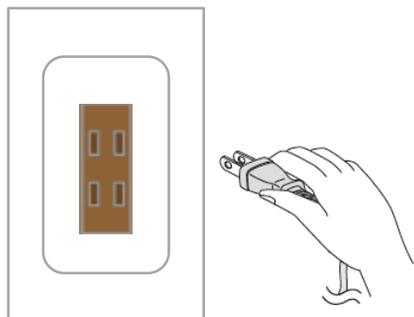


STEP 5 リモコンの発電ランプ「点灯」を確認し、給湯スイッチを「入」にする。

室内リモコンの発電ランプが「点灯」していることを確認した上で、給湯スイッチを「入」にします。
※約1分後に非常用コンセントに通電します。

**STEP 6** 停電時に使用したい電気製品を非常用コンセントへ差し替える。

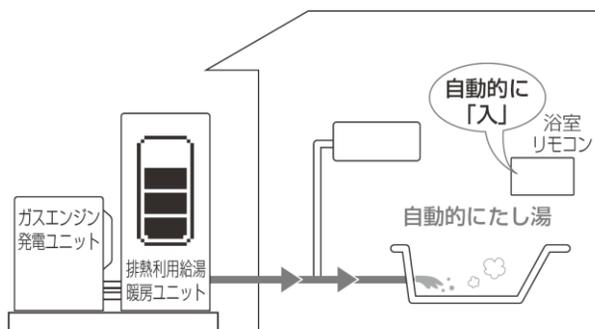
非常用コンセントは茶色のコンセントが目印です。差し替えてご使用ください。
※最大980Wの電力を使用できます。

**!** 注意

運転時間が23時間55分を超えると発電を停止します。
引き続き停電時運転を行う場合は、STEP 4～5の手順で再度エンジンを始動してください。

停電時運転中は、給湯・シャワー・お風呂・浴室暖房・床暖房などでお湯を活用する。

お湯を使わないと、タンクがいっぱいになり発電が止まってしまうため、排熱利用給湯暖房ユニットが自動的にお湯を供給します。※浴槽の栓をしていると、たし湯により浴槽からお湯があふれることがありますので注意してください。



● 停電発生時の操作方法

東邦ガス

発電継続機能の「有無」を確認します。

※ 停電時自立運転機能「なし」の機種は停電時のご利用はできません。

停電時
自立運転機能
「あり」

GEH-1011ARS-KB
GEH-1015ARS-KB

停電時
自立運転機能
「なし」

上記品番の機種以外は停電時のご利用はできません。

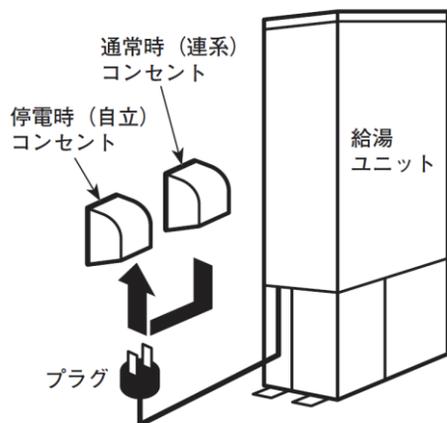
※停電発生時にガスと水道が正常に供給されていることをご確認ください。

ガスメーターのランプが点滅していないこと、及び水が出ることをご確認ください。

STEP 1 給湯ユニットのプラグを停電時(自立)コンセントへ差し替える。

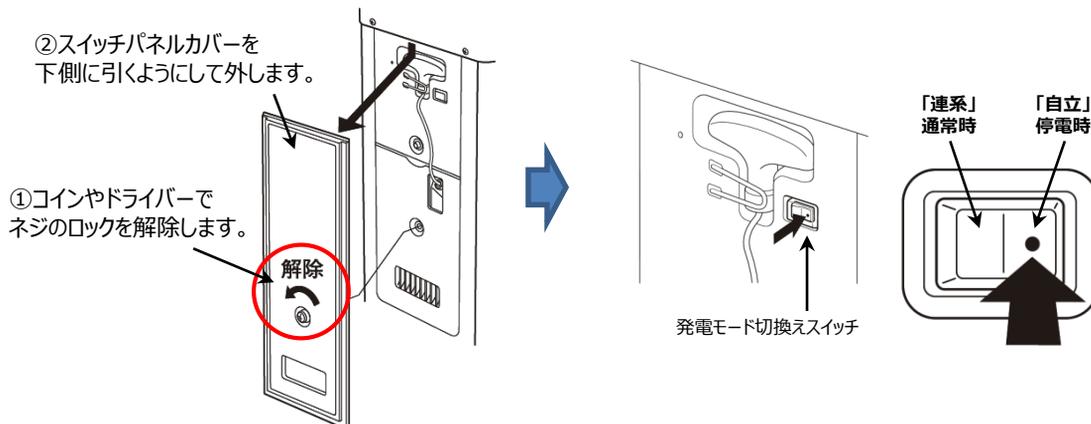
給湯ユニットの電源プラグを停電時（自立）コンセントに差換えます。

※コンセント差込部およびプラグに水滴を付けないようにしてください。感電のおそれがあるので、濡れた手で作業しないようにしてください。



STEP 2 「発電モード切換え」スイッチを「自立」に切替える。

発電ユニットのスイッチパネルカバーを取外し、発電モード切換えスイッチを「自立」(停電時)側に切替えます。



STEP 3 エンジンの始動準備をする。

始動グリップを取出して両手で持ち、1～2回止まるまでゆっくりロープを引き出し、周囲に障害物がないこと、足場がしっかりしていることを確認します。
※確認後は、始動グリップに手を添えてゆっくり戻してください。

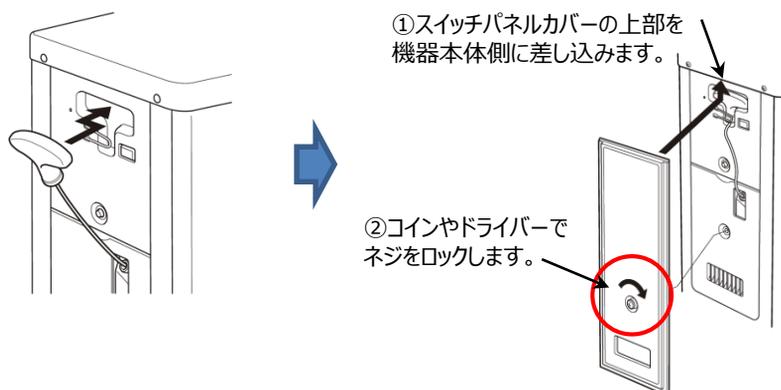


STEP 4 エンジンを始動する。

運転ランプが「消灯」している状態で、両手で始動グリップを持ち、ロープが伸びきるまで勢い良く引きます。
※一度でかからない場合は繰り返します。
エンジンがかかると運転ランプが「点滅」に変わり、発電ユニットが振動します。

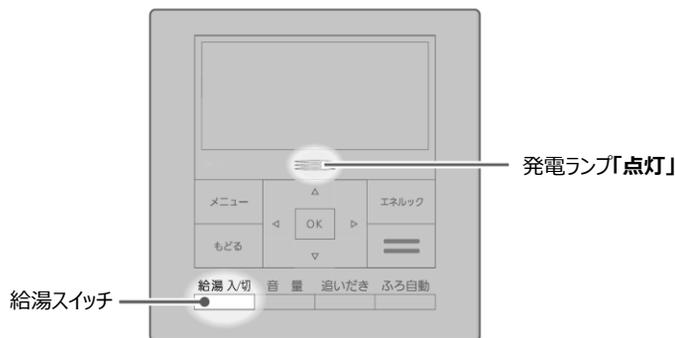


エンジンがかかったら始動グリップを収納位置に戻し、スイッチパネルカバーをはめ直しておきましょう。

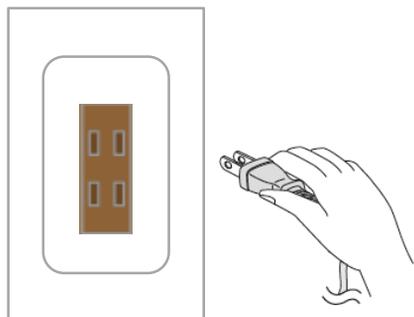


STEP 5 リモコンの発電ランプ「点灯」を確認し、給湯スイッチを「入」にする。

室内リモコンの発電ランプが「点灯」していることを確認した上で、給湯スイッチを「入」にします。
※約1分後に非常用コンセントに通電します。

**STEP 6** 停電時に使用したい電気製品を非常用コンセントへ差し替える。

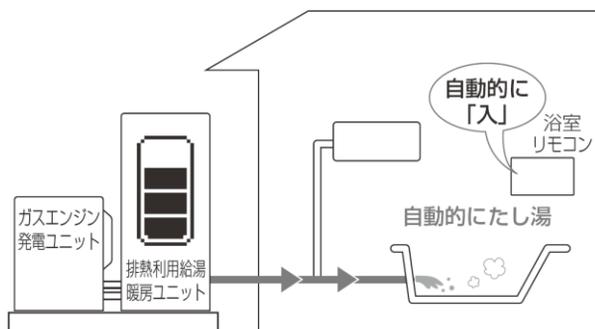
非常用コンセントは茶色のコンセントが目印です。差し替えてご使用ください。
※最大980Wの電力を使用できます。

**!** 注意

運転時間が23時間55分を超えると発電を停止します。
引き続き停電時運転を行う場合は、STEP 4～5の手順で再度エンジンを始動してください。

停電時運転中は、給湯・シャワー・お風呂・浴室暖房・床暖房などでお湯を活用する。

お湯を使わないと、タンクがいっぱいになり発電が止まってしまうため、排熱利用給湯暖房ユニットが自動的にお湯を供給します。※浴槽の栓をしていると、たし湯により浴槽からお湯があふれることがありますので注意してください。



浴槽の排水栓を開けておくことをおすすめします。

● 停電発生時の操作方法

大阪ガス

発電継続機能の「有無」を確認します。

※ 停電時自立運転機能「なし」の機種は停電時のご利用はできません。

停電時
自立運転機能
「あり」

190-0004
190-0006

停電時
自立運転機能
「なし」

上記品番の機種以外は停電時のご利用はできません。

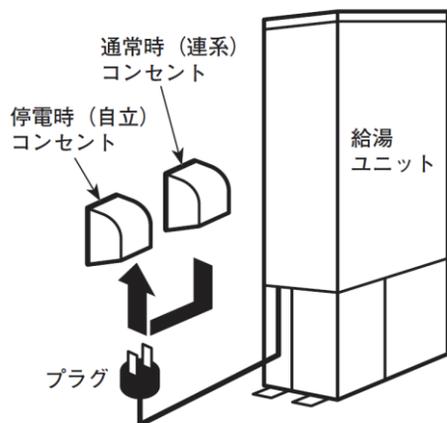
※停電発生時にガスと水道が正常に供給されていることをご確認ください。

ガスメーターのランプが点滅していないこと、及び水が出ることをご確認ください。

STEP 1 給湯ユニットのプラグを停電時(自立)コンセントへ差し替える。

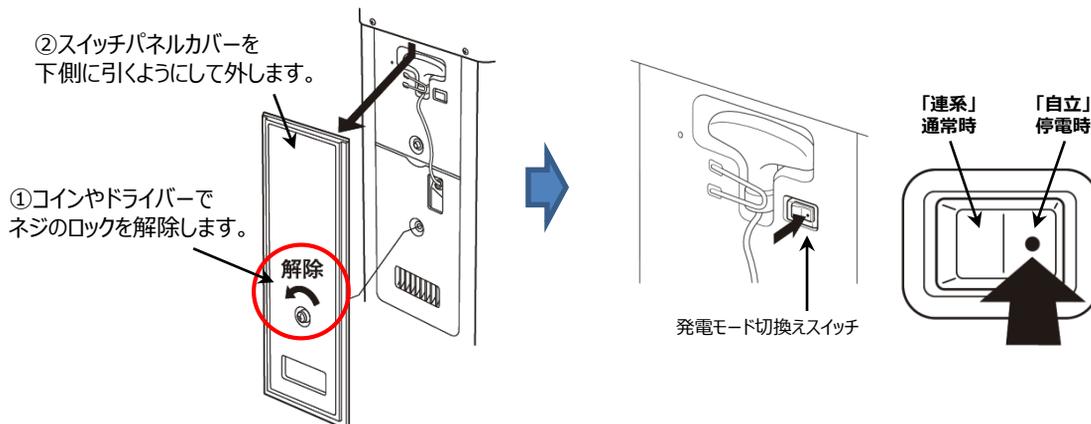
給湯ユニットの電源プラグを停電時（自立）コンセントに差換えます。

※コンセント差込部およびプラグに水滴を付けないようにしてください。感電のおそれがあるので、濡れた手で作業しないようにしてください。



STEP 2 「発電モード切換え」スイッチを「自立」に切換える。

発電ユニットのスイッチパネルカバーを取外し、発電モード切換えスイッチを「自立」(停電時)側に切換えます。



STEP 3 エンジンの始動準備をする。

始動グリップを取出して両手で持ち、1～2回止まるまでゆっくりロープを引き出し、周囲に障害物がないこと、足場がしっかりしていることを確認します。
※確認後は、始動グリップに手を添えてゆっくり戻してください。

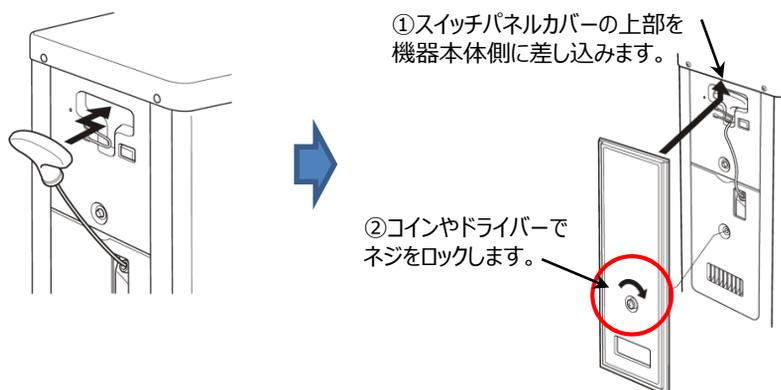


STEP 4 エンジンを始動する。

運転ランプが「消灯」している状態で、両手で始動グリップを持ち、ロープが伸びきるまで勢い良く引きます。
※一度でかからない場合は繰り返します。
エンジンがかかると運転ランプが「点滅」に変わり、発電ユニットが振動します。

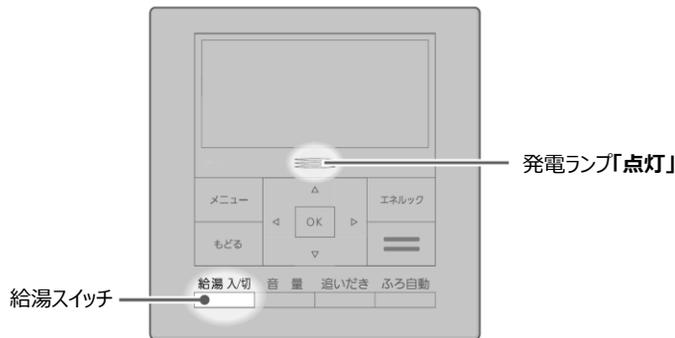


エンジンがかかったら始動グリップを収納位置に戻し、スイッチパネルカバーをはめ直しておきましょう。

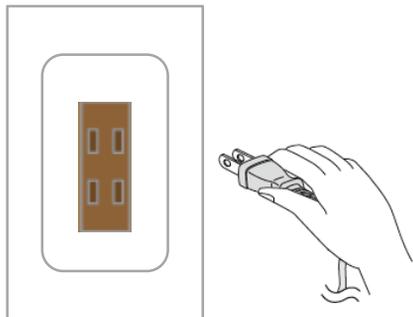


STEP 5 リモコンの発電ランプ「点灯」を確認し、給湯スイッチを「入」にする。

室内リモコンの発電ランプが「点灯」していることを確認した上で、給湯スイッチを「入」にします。
※約1分後に非常用コンセントに通電します。

**STEP 6** 停電時に使用したい電気製品を非常用コンセントへ差し替える。

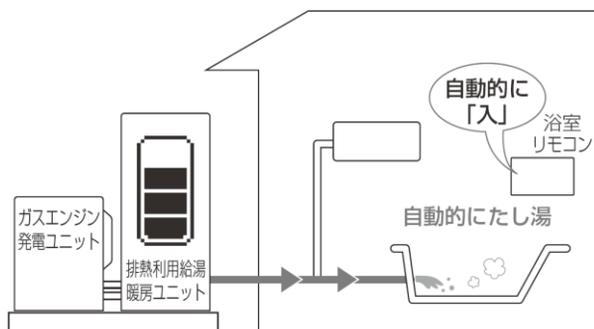
非常用コンセントは茶色のコンセントが目印です。差し替えてご使用ください。
※最大980Wの電力を使用できます。

**!** 注意

運転時間が23時間55分を超えると発電を停止します。
引き続き停電時運転を行う場合は、STEP 4～5の手順で再度エンジンを始動してください。

停電時運転中は、給湯・シャワー・お風呂・浴室暖房・床暖房などでお湯を活用する。

お湯を使わないと、タンクがいっぱいになり発電が止まってしまうため、排熱利用給湯暖房ユニットが自動的にお湯を供給します。※浴槽の栓をしていると、たし湯により浴槽からお湯があふれることがありますので注意してください。



浴槽の排水栓を開けておくことをおすすめします。

● 停電発生時の操作方法

西部ガス

発電継続機能の「有無」を確認します。

※ 停電時自立運転機能「なし」の機種は停電時のご利用はできません。

停電時
自立運転機能
「あり」

GEH-1011ARS-KB
GEH-1015ARS-KB

停電時
自立運転機能
「なし」

上記品番の機種以外は停電時のご利用はできません。

TOPへ戻る

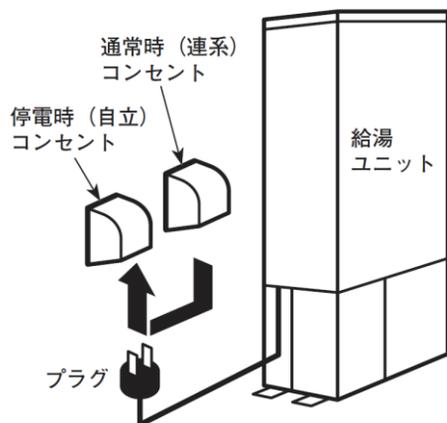
※停電発生時にガスと水道が正常に供給されていることをご確認ください。

ガスメーターのランプが点滅していないこと、及び水が出ることをご確認ください。

STEP 1 給湯ユニットのプラグを停電時(自立)コンセントへ差し替える。

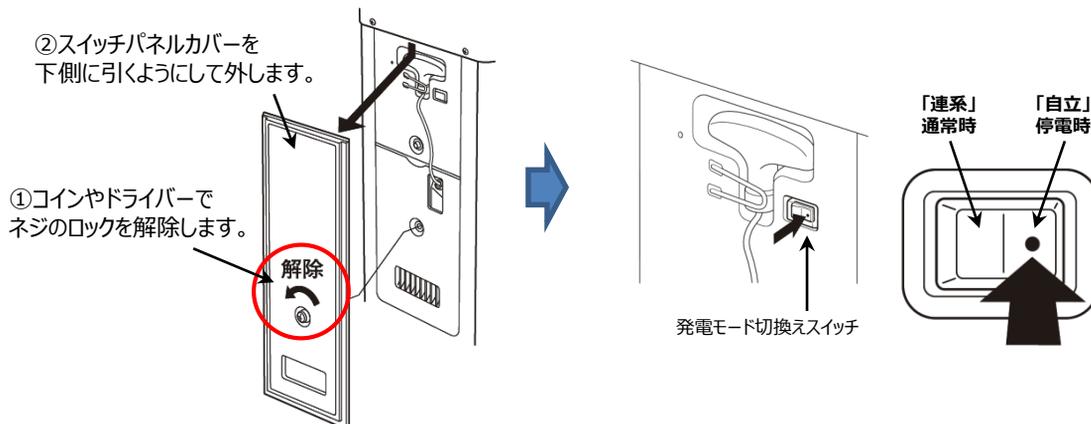
給湯ユニットの電源プラグを停電時（自立）コンセントに差換えます。

※コンセント差込部およびプラグに水滴を付けないようにしてください。感電のおそれがあるので、濡れた手で作業しないようにしてください。



STEP 2 「発電モード切換え」スイッチを「自立」に切換える。

発電ユニットのスイッチパネルカバーを取外し、発電モード切換えスイッチを「自立」(停電時)側に切換えます。



STEP 3 エンジンの始動準備をする。

始動グリップを取出して両手で持ち、1～2回止まるまでゆっくりロープを引き出し、周囲に障害物がないこと、足場がしっかりしていることを確認します。
 ※確認後は、始動グリップに手を添えてゆっくり戻してください。

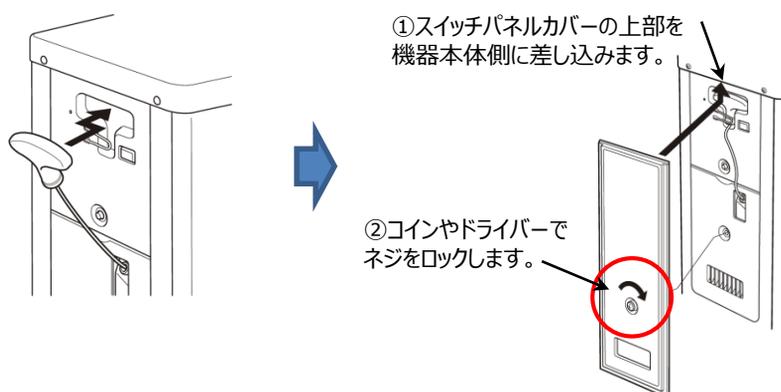


STEP 4 エンジンを始動する。

運転ランプが「消灯」している状態で、両手で始動グリップを持ち、ロープが伸びきるまで勢い良く引きます。
 ※一度でかからない場合は繰り返します。
 エンジンがかかると運転ランプが「点滅」に変わり、発電ユニットが振動します。

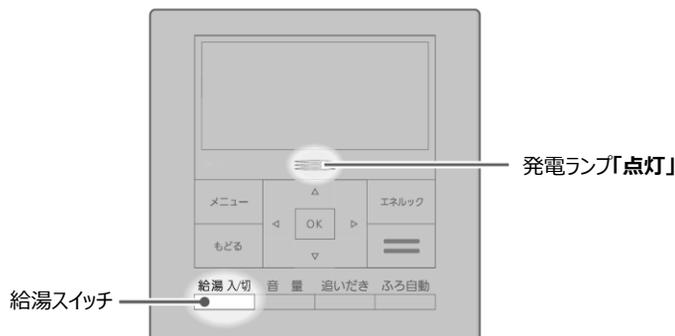


エンジンがかかったら始動グリップを収納位置に戻し、スイッチパネルカバーをはめ直しておきましょう。

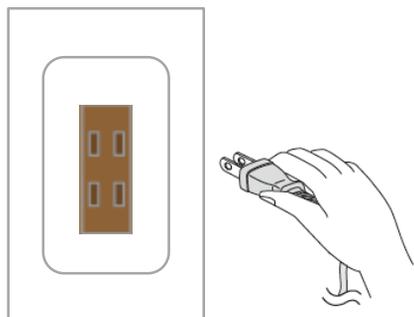


STEP 5 リモコンの発電ランプ「点灯」を確認し、給湯スイッチを「入」にする。

室内リモコンの発電ランプが「点灯」していることを確認した上で、給湯スイッチを「入」にします。
※約1分後に非常用コンセントに通電します。

**STEP 6** 停電時に使用したい電気製品を非常用コンセントへ差し替える。

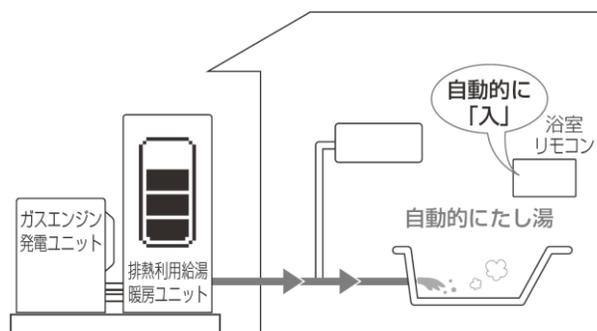
非常用コンセントは茶色のコンセントが目印です。差し替えてご使用ください。
※最大980Wの電力を使用できます。

**!** 注意

運転時間が23時間55分を超えると発電を停止します。
引き続き停電時運転を行う場合は、STEP 4～5の手順で再度エンジンを始動してください。

停電時運転中は、給湯・シャワー・お風呂・浴室暖房・床暖房などでお湯を活用する。

お湯を使わないと、タンクがいっぱいになり発電が止まってしまうため、排熱利用給湯暖房ユニットが自動的にお湯を供給します。※浴槽の栓をしていると、たし湯により浴槽からお湯があふれることがありますので注意してください。



浴槽の排水栓を開けておくことをおすすめします。